

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	緊急走行時の交差点(T字路)進入について
3. 体験した事例の中心的要素	ポンプ車で火災出場途上、T字路交差点に差し掛かる。赤信号で停車中の車両1台を、前方から車両がきていないのを確認しながら、反対車線へはみ出して追い越しを掛けたところ、T字路の左側車線から急加速で交差点内へ右折してきた車両と正面衝突寸前になるが、道路右側一杯に幅寄せして衝突回避し、止まることなく交差点を脱出し、火災現場へ進行する。
4. 体験した事例の原因・理由	交差点手前から、前方及び交差点内の目視できる範囲を全て確認して停車中の車両を追い越し反対車線から交差点内へ進入するが、T字路の建物の影から交差点内へ急加速で進入してくる車両までは予測できなかつた。

## 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 21 年 5 月 12 日 午後 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：信号機のない交差点(T字路)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	火災出動途上、 [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	数年に 1 度程度の割合で体験している。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 56 ]歳、 勤続年数[ 38 ]年、 現場経験年数[ 38 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、 同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ その他 : 補助機関員 ]
○当事者B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	機関員	緊急走行していた。	
経過 2		T字路交差点があり停車中の車輌あり。	
経過 3		車輌をよける為、反対側車線に進入。	
経過 4		T字路の左側車線から右折車が来る。	
経過 5		緊急走行中の車輌と正面衝突しそうになる。	
経過 6		道路右側一杯に幅寄せして衝突回避。	
経過 7		止まることなく火災現場へ進行する。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 はい
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

#### b 注意力が欠如していた

- 注意力が欠かしていた

  - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
-----

## 火災出動途上時の交差点内のヒヤリハット状況図

